

令和3年度第1回函館方面寿都警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和3年8月26日（木） 午後2時45分から午後4時15分まで

2 開催場所

函館方面寿都警察署 大会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 4人（定員4人）

会 長 小 田 章
副 会 長 森 林 敦 子
委 員 佐々木 昇 一、岡 部 裕 子

(2) 警察署員 5人

署 長 佐 藤 昌 宏
副 署 長 中 田 淳
刑生課長 工 藤 俊 之
地交課長 小 室 久 孝
警務係長（庶務担当）

4 協議会議事

(1) 令和3年上半期業務推進状況について

- ・ 刑事・生活安全課
犯罪の認知・検挙状況
- ・ 地域・交通課
交通事故の発生状況

(2) 諮問への答申及び意見要望に対する説明 （諮問：地域における特殊詐欺被害防止活動）

警察署～ 諮問である「地域における特殊詐欺被害防止活動」について委員の皆様から今まで様々な提言を受け活動してます。

委員から「被害者は、比較的高齢者の方が多いいことから孫のような子供からの声掛けは印象に残るのではないか」との御意見を受け、今年2月に高校生ボランティアが独居高齢者宅の除雪作業を行ったあと警察官も一緒に各戸を訪ね、特殊詐欺被害防止の声掛けを実施しました。

なお、その様子が北海道新聞に掲載されました。

また、委員から「目にとまる啓発を行った方が良いのではないか」との御意見を受け、チラシだけでなく、ウェットティッシュや入浴剤の袋に被害防止標語のシールを貼り付け配布を実施しました。

その他、インターネットを利用したワンクリック詐欺被害にも知っていたいただきたいと思い、防止するためこのチラシを配るなどして啓発活動を行っています。

委 員～ 現在の特殊詐欺被害防止啓発取組を継続していくことが大事であると思

う。
高齢者に対しては、新たな手口などを周知する際に、各家庭に設置され

ている防災無線からの情報発信も有効であると思う。

警察署～ 昨年、各自治体と防災無線の活用協定を締結していることから、予兆事案などを察知した際は、積極的な活用を考えていきたい。

また、コロナ禍で自粛されているイベントなどを開催した際には、その機会を利用した情報発信を行いたいと考えています。

(3) 意見・要望

ア 防犯上の注意点

委員～ 今期の夏が暑く、夜も寝苦しい日が続いたが、窓の開放状態での就寝について教示願いたい。

警察署～ 無施錠での就寝については、防犯上安心できないことから、二階建て住宅では、二階の窓の開放や扇風機等の活用、また防犯グッズの活用を行うなどして、無防備に窓を開放して就寝することのないよう配慮願いたい。

イ 冬道の道路維持について

委員～ 冬季間、寿都と黒松内の間の道路が凍結し単独で路外に逸脱する車を多く見かける。

幸い、大型の事故の発生ではないようだが、対処できないか。

警察署～ 過去の事故の発生状況を確認するとともに、道路維持関係者や役場とも検討を行い効果的な事故防止を講じていきたい。

ウ 海水浴期の人流れ遭難防止について

委員～ 寿都町にある浜中海岸の海で人が沖に流される遭難事故が毎年のように発生している。

今年は幸い亡くなった方はいないが、必要な防止を講じて欲しい。

警察署～ 委員の指摘された海岸は、海水浴場とはなっていないもののキャンプ場として活用されている場所であり、今後事故防止の啓発について自治体と連携を図りながら対策を講じていきたい。

(4) 次回諮問

地域住民と共に取り組む交通安全意識向上活動に関する意見

(5) 次回開催予定

令和3年11月上旬から下旬を予定

令和 年 月 日

㊞

令和 年 月 日

㊞